

## 移動通信システムの標準化活動における課題

2012年3月1日

一般社団法人電波産業会

### ● ほぼ10年毎に移動通信システムの世代が変遷

- ✓ 1G (アナログ方式) ⇒ 2G (デジタル方式) ⇒ 3G (IMT-2000) ⇒ 4G (IMT-Advanced) ⇒ 5G(?)
- ✓ グローバルローミングのニーズが高まり国際標準化が活発化
- ✓ 有限な周波数資源の有効活用の観点からハーモナイゼーション活動も活発化

### ● 標準化活動が多様化

- ✓ デジタル標準だけでなく、フォーラム標準に関する活動や連携も活発化
- ✓ ITU-R 等での国際標準化活動だけでなく、アジア太平洋地域 (Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group) や隣国 (China, Japan and Korea Standards Meeting)、等の地域での標準化・連携活動並びにパートナーシッププロジェクト (3GPPs 等) での活動・連携も活発化

### ● 国際標準化活動での中国・韓国の台頭が顕著

- ✓ 中国・韓国からの国際標準化会議への参加者・寄与文書の数が増大
- ✓ 上記に伴い標準化会議における主要ポスト (議長・副議長等) の中国・韓国企業籍の占有率も増加

### ● 今後の日本における移動通信システムの国際標準化活動に

まとめられるもの何か？